

ゆうきフェスタ 2017 開催要領

2017年9月

1. 開催目的

「ゆうきフェスタ」は、2000年秋に熊本県有機農業研究会に参加する諸団体の収穫交流祭として出発しました。多くの生産者・消費者が集い、収穫の喜びを分かち合うとともに、有機農業や有機農産物への親しみを広げ、普及啓発・理解促進を目指し、環境問題にも関心を向けたお祭りとして、年に一度の実施を継続してきました。

昨年は、「ゆうきフェスタ 2016 食はいのち」と題して、熊本地震の復興支援企画をメインに開催し、来場者数約9,786名、出展数89を集め、大盛況となりました。また、リユース食器の使用などの活動が評価され、環境省から「地域環境保全地域功労者賞」と「循環型社会形成推進功労者環境大臣賞」をいただきました。

18回目となる今年は、くまもと農業フェアと同日開催で2日間開催します。より多くの方にオーガニックへの共感や親しみを広げられるような内容、環境を守る取り組み(エコ)に目を向けたお祭りを企画するとともに、就農支援コーナーのさらなる充実を図ります。広場では、有機農産物や加工品・飲食物の販売、多様な参加型企画、子どもたちも楽しめるようなキッズ向け企画等々を実施し、温かくて元気な「オーガニックの祭典」を開催します。

2. 開催日時

2017年(平成29年)11月18日(土)・19日(日) 9:30~16:00

3. 開催場所

熊本県農業公園カントリーパーク (合志市栄3802-4)

4. タイトル・テーマ

タイトル：第18回 熊本オーガニックの祭典「ゆうきフェスタ 2017」

テーマ：「いのちをつくる衣食住～オーガニックというこだわり～」

5. 企画

◆ ステージ企画

- ・ 有名シェフによる熊本の有機野菜の料理ショー、復興支援ライブ、子どもたちによる太鼓演奏など行い、楽しみながら衣食住考える機会をつくりま

◆ 広場

➤ 物販

- ・ 有機野菜、有機米、有機食材を使った総菜・軽食・乳製品等、フェアトレード商品、エコライフ関連商品・書籍等の販売をします。

- ・ 飲食物は、できる限り出展者の野菜や米を使っていただく事を目指し、調理や物販の出展者に呼びかけます。
- ワークショップ（参加型企画）
 - ・ ぼかし肥料作りや生ごみダンボールコンポスト、ミツバチの巣箱作りなど、実際に見て、触れて、作り、知るという体験を通して、環境や体にやさしい暮らし方を提案し、環境問題の理解と取り組みに目を向け、意識を高めてもらう機会とします。
- 新規就農支援
 - ・ 熊本県農業公社と当会とで、就農相談をはじめ、就農体験が聞ける企画や支援事業の紹介をし、就農・定着につながるよう応援します。親身な相談、積極的な支援の気持ちが伝わる場を目指します。
 - ・ 新規就農者の野菜販売ブースを設け、新規就農者が消費者や先輩農家、新規就農者同士と交流することで意欲向上を図るとともに、就農希望者が先輩の生の声が聞けるようにします。

◆ 環境への配慮

- ・ !全体を通して「使い捨てゼロ」を合言葉に、環境負荷の軽減を目指します。具体的には、マイバック持参を促すとともに、飲食品類の販売にはリユース食器を使用し、使用後の汚れは米ぬかで拭き取ります。!
- ・ !排出された生ゴミは、竹チップ（熊本城下で行われる「水あかり」で使用した竹）を用いてコンポスト化し、ゴミ減量を目指します。!

6. 参加対象

県内外住民全般（どなたでも）

7. 参加費

無料

8. 主催

「ゆうきフェスタ 2017」実行委員会
（実行委員長：特定非営利活動法人熊本県有機農業研究会 理事長 上田厚）

9. 共催

くまもと有機農業推進ネットワーク

10. 後援

公益財団法人熊本県農業公社・九州農政局・熊本県・熊本県教育委員会・
熊本市・合志市・熊本県農業協同組合中央会・熊本日日新聞社・
NHK 熊本放送局・熊本朝日放送株式会社・株式会社熊本県民テレビ・
株式会社熊本放送・株式会社テレビ熊本・株式会社エフエム熊本